

報道関係者各位

2015年11月5日

株式会社 Woman&Crowd

「Woman&Research」、主婦の貯金事情に関する調査結果を発表

貯蓄の平均額は278万円、ヘソクリの平均額は110万円

～「独身時代にもっと貯めておけば良かった」反省・失敗エピソードも～

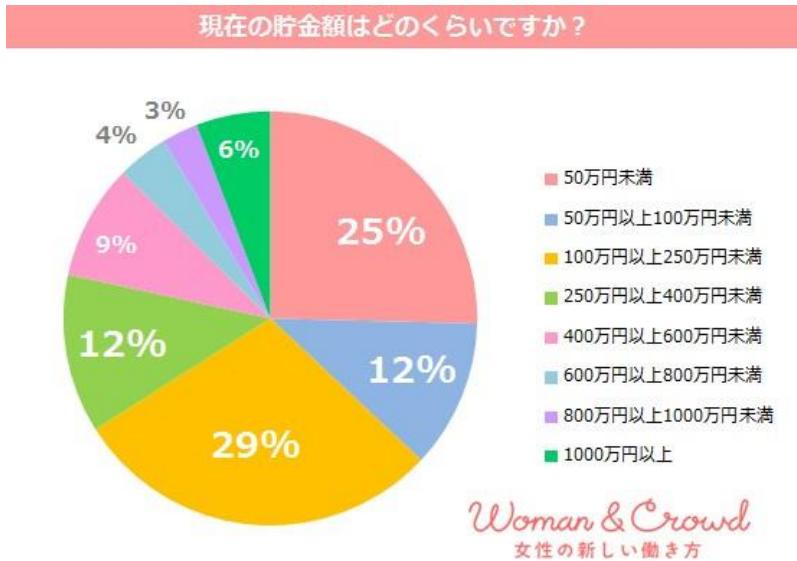
株式会社サイバーエージェント(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:藤田晋、東証一部上場:証券コード4751)の連結子会社で、女性の多様な働き方を支援する株式会社 Woman&Crowd(読み:ウーマンクラウド、以下 Woman&Crowd)は、株式会社ココラブル(本社:東京都渋谷区、代表取締役:森 美知典)が運営する、ママをもっと楽しく、もっと輝くためのWebマガジン「mamaPRESS-ママプレス-」と共同で、主婦の貯金に関する意識調査結果を発表いたしました。

本調査は、貯金事情や貯金にまつわるエピソードを尋ねることによって実情を知り、今後のマネープランの参考としていただけることを目的に、20代から50代の既婚女性500名(「Woman&Crowd」会員)を対象として実施したものです。

■「Woman&Research」 主婦の貯金に関する意識調査

Q1. 現在の貯金額はどのくらいですか?

平均額は約2,785,000円、中央値は1,500,000円という結果に



現在の貯金額を聞いたところ、平均額は約2,785,000円、中央値は1,500,000円という結果となりました。また、約6割の回答者が「世帯収入の10%を貯金に回している」と回答し、その貯金の目的は「子供の養育費」が最多となり、続いて「病気や事故、災害など緊急時の出費の備え」、「自分たちの老後の蓄え」となりました。高額商品(マイカー、マイホーム)の購入やレジャー費用など、欲求を目的とした貯金ではなく、

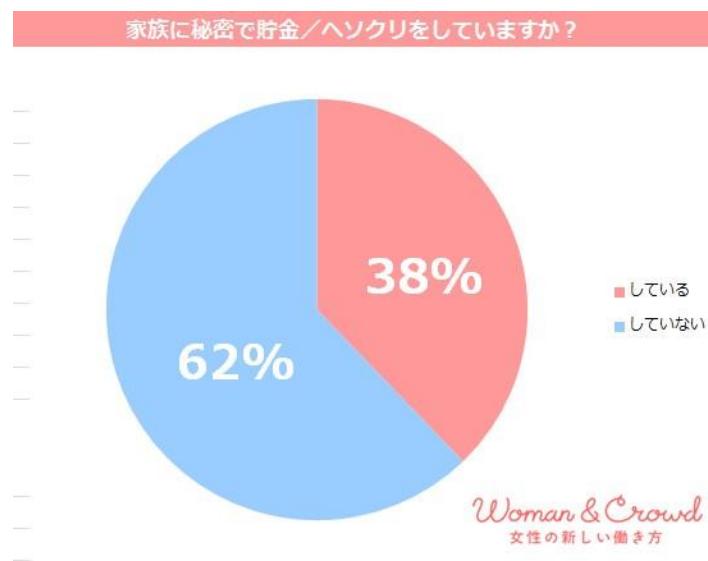
緊急時や老後など、リスクを考慮した貯金が主目的になっていることがわかりました。

具体的な貯金の方法について聞いたところ、銀行口座からの自動引き落としを活用している回答が目立つなか、100円玉や500円玉の小銭貯金や、外食を控えたり水道・光熱費の節制を日々心がけるなど、主婦ならではの節約術も意識的に貯金をするべく活かされていることがわかりました。また、投資などの財テクを学んで実践しているという回答も散見されました。

Q2. あなたは家族に秘密で貯金/ヘソクリをしていますか？

約4割の主婦が「家族に秘密で貯金/ヘソクリをしている」

理由は「自分のために自由に使えるお金が欲しかったから」、「いざという時の備え」のほか、「子どもが大きくなったら離婚しようと考え始めたから」という回答も。



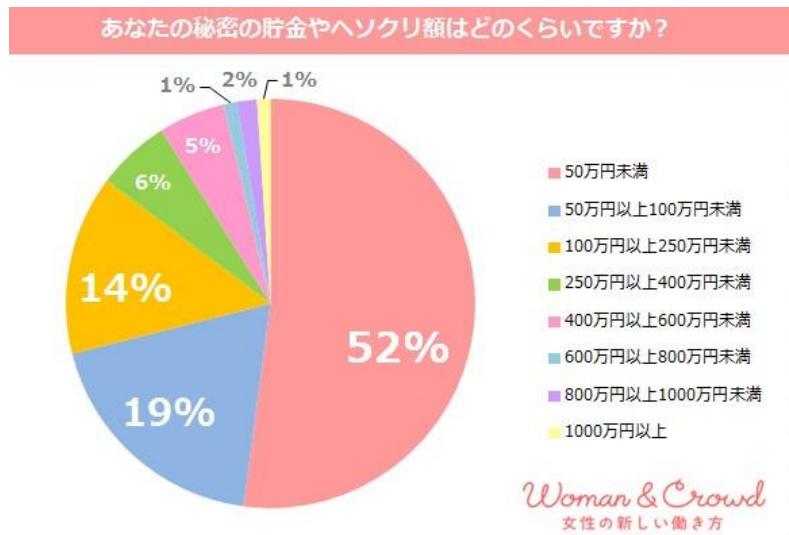
家族に秘密にしている貯金やヘソクリを持っているという主婦は約4割という結果となりました。

秘密の貯金やヘソクリを始めた理由について聞いたところ、「独身時代に働いていたお金をコツコツ貯金していた延長で貯め続けている」、「夫が浪費家なので、将来を不安に感じて始めた」、一部の回答では「夫婦喧嘩をした時に、もしもの際にまとまったお金が必要と思った」、「子どもが大きくなったら離婚しようと考え始めたから」など、夫婦の危機にも先立つものの重要性を冷静に考えている一面も見られました。

実際の使途については、自分の趣味やスキルアップ、交際費に使っているという回答が多く見られる中、自分のために使いたいと思いつつも、家族行事や家族へのプレゼント費用に充てるなど、手をつけずに貯め続けるというよりは、必要に応じて引き出しながら貯金を続けているということがわかりました。

Q3. あなたの秘密の貯金やヘソクリ額はどのくらいですか？

平均額は 1,108,513 円、中央値は 300,000 円という結果に



Woman & Crowd
女性の新しい働き方

秘密の貯金/ヘソクリの金額を聞いたところ、平均額は 1,108,513 円、中央値は 300,000 円という結果になりました。また、隠し場所については「ネット銀行を利用して専用口座を開設」、「本棚にある本のスキマに挟んでいる」、「リビングの置物の中」など、個人によって工夫が見られました。

さらに、貯金やお金にまつわる失敗・反省エピソードを聞いたところ、「独身時代にもっと貯めておけば良かった」と悔やむ声が最も多く見られました。

▼貯金やお金にまつわる失敗・反省エピソード 自由回答より一部抜粋

「子供用の貯蓄をしようと思い、お年玉や親族からもらったお小遣いを貯めていたが、急な入用でつかってしまい、罪悪感にさいなまれている」(30代)

「節約のため猛暑にエアコンを限界まで我慢した結果、体調を崩してしまい、むしろ出費がかさんでしまった」(30代)

「夫と金銭面での考え方にはズレが生じている。結婚当初からもう少しお金に関して話し合っておくべきだった」(40代)

「同居していた両親から生活費をもらうことができなかったけど、その都度しっかり請求するべきだったと思う。振り返れば結構な出費になっていた」(50代)

【「Woman&Research」主婦の貯金に関する意識調査】

URL : <http://womancrowd.co.jp/pressroom/pressrelease-151105/>

調査主体: Woman&Research(株式会社 Woman&Crowd)

調査期間: 2015 年 10 月 8 日(木)～2015 年 10 月 15 日(木)

調査方法: インターネット調査

有効回答: 20 代～50 代までの既婚女性 500 名

※「mamaPRESS」関連記事

URL: <https://mamapress.jp/magazine/hesokuri/>

■「mamaPRESS-ママプレス-」

株式会社ココラブル(本社:東京都渋谷区、代表取締役:森 美知典)が運営する「mamaPRESS -ママプレス-」は“「ママ」であることをもっと楽しみたい！輝きたい！”そんなママたちのためのWebメディアです。「ママ」が知りたい情報だけを、「ママ」の編集＆ライターがママ目線でお届けしています。

URL: <https://mamapress.jp/>

■「Woman&Research」とは

株式会社 Woman&Crowd が運営する、女性向けクラウドソーシングサービス「Woman&Crowd (ウーマン&クラウド)」の会員 20 万人を基盤とした調査機関です。様々なテーマで意識・実態調査を行い、結婚や出産などライフステージの変化によるキャリアへの影響を受けやすい女性の声を社会に届けることで、女性の「はたらく」を応援してまいります。

■株式会社 Woman&Crowd 概要

社名 株式会社 Woman&Crowd(ウーマンクラウド) <http://womancrowd.co.jp/>

所在地 東京都渋谷区円山町 28-1 Daiwa 渋谷道玄坂ビル

設立 2014 年 9 月 1 日

代表者 代表取締役社長 石田裕子

株主 株式会社サイバーエージェント 100%

事業内容 クラウドソーシング事業、女性支援に関するイベント企画・運営事業、福利厚生代行事業

■このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社 Woman&Crowd 広報室 鳥之海(トリノウミ)

E-mail: pub@womancrowd.co.jp 電話:03-4589-5178